

## 国際化学肥料ニュース (2019年8月)

### 肥料業界の2019年8月動態

- \* ヨルダンの APC 社は8月から南米に赤粒塩化加里を輸出し始めると発表した。この赤粒塩化加里は死海の鹹水ではなく、死海に近い Al Lisan 地域の地下から採掘されたものである。APC 社はすでにヨルダン政府と契約を結び、加里資源の採掘プロジェクトを始めた。完成すれば、年間 45 万トンの塩化加里生産能力を増加する。
  
- \* アメリカの Mosaic 社はカナダ Saskatchewan 州にある Colonsay 加里鉱山を一時閉鎖すると発表した。その目的は生産コストの削減である。Mosaic 社は同じ Saskatchewan 州にある Esterhazy K3 加里鉱山の増産を図り、設備が老朽化した Colonsay 鉱山が休止しても生産量に影響がないとも強調した。Colonsay 鉱山の一時閉鎖により、約 300 名の従業員が一時解雇される。
  
- \* 8月第2週のりん安市況がさらに悪くなった。その理由はサウジアラビアの生産量増加とインド、パキスタンの在庫増、ブラジルとアルゼンチンの需要減である。  
東半球では、インドの7月末現在の DAP 国内在庫量 193 万トン、港保税区在庫量 67 万トン、合計 270 万トンもあり、DAP 輸入の価格交渉に有利な立場に立っている。インド IRC 社が中国から CFR347~349 ドル/トンで 5 万トン DAP、IRM 社がロシアから CFR347 ドル/トンで 3 万トン DAP と化成肥料を購入した。パキスタンが中国から FOB340 ドル/トンで 5 万トン DAP の輸入を契約した。  
西半球では、アメリカの Mosaic 社が FOB327 ドル/トンで南米に 4 万トン DAP と MAP を輸出し、モロッコの OCP 社は 3 船の DAP と MAP をブラジルに輸出する計画である。なお、ブラジル粒状 MAP の CFR 価格が 340~345 ドル/トンまで下がった。
  
- \* 中国税関の速報によれば、2019年7月の化学肥料輸出量 298 万トン、その内訳は尿素 27 万トン、DAP88 万トン、MAP31.8 万トン、化成肥料 8 万トン、硫酸加里 2.6 万トン。一方、7月の化学肥料輸入量 95 万トン、その内訳は塩化加里 86 万トン、化成肥料 8 万トン、硫酸加里 1 万トン。
  
- \* インドからの情報によれば、インド側と主要大手加里メーカーが 9 月上旬から 2019~2020 年度の塩化加里輸入基本契約に関する交渉を正式に開始する。昨年、2018~2019 年度の塩化加里輸入基本契約に関する交渉は 6 月から始まり、8 月 25 日に合意し、締結した。今年が大分遅れる理由は、事前の水面下交渉ではインド側が値下げ、メーカー側は値上げ要求で、かみ合わせなかったため、正式な交渉が先に送られた。

- \* ブラジル税関の統計データによれば、2019年上半期の粒状MAP輸入量が140万トン、昨年同期より約50万トン増、新記録となった。輸入元の内訳は、モロッコから40.7万トン、ロシアから37.3万トン、アメリカから30.6万トン、サウジアラビアから23.6万トン。

ブラジルは他国と異なり、大豆の栽培などの元肥にDAPや化成肥料ではなく、直接粒状MAPを使う慣習がある。

### 大手各社の営業業績

- \* イスラエル ICL 社が第2四半期の業績を公表した。天候不順のため、加里生産量が17.1%減の111.7万トン、販売量が14.2%増の125.2万トン、売上高が4%増の14.25億ドル、純利益が33.6%増の1.51億ドル。
- \* ドイツの K+S 社が第2四半期の業績を公表した。売上高が8%増の8.79億ユーロ、EBITDAが24%増の1.3億ユーロ。
- \* ロシアの Acron 社は2019年上半期の業績を公表した。化学肥料を含む製品生産量が1.5%増の380.5万トン、販売量が4.7%増の383.5万トン。売上高が11%増の9.26億ドル、EBITDAが22%増の3.22億ドル、純利益が460%増の2.63億ドル。売上と純利益が大幅に増加した理由は、化学肥料の市況がよく、輸出が順調で、価格も昨年より上がったことである。
- \* ロシアの Uralkali 社が上半期の業績を公表した。塩化加里生産量が3%減の570万トン、販売量が8%減の540万トン、売上高が10%増の15.43億ドル、EBITDAが19%増の8.74億ドル。売上高増加の原因は販売価格、特に輸出価格の上昇で、利益増加の原因は生産コストの削減である。また、発表資料によれば、塩化加里の生産コストが42.9ドル/トンである。
- \* 中国上場している肥料メーカー22社の上半期業績がすべて公開された。22社のうち18社が黒字、4社が赤字である。米中経済摩擦と中国経済の不振などの原因で、22社の合計利益が35.1%減の36.9億人民元（約5.21億ドル）。業界別では、窒素肥料業界では上場11社のうち8社黒字、3社赤字、11社の合計利益が51.6%減の22.2億人民元（約3.14億ドル）、リン酸肥料業界では上場3社とも黒字で、合計利益が147.4%増の2.7億人民元（約3810万ドル）、加里肥料業界では2社のうち1社が赤字で、業界全体が赤字2億人民元（約2825万ドル）、化成肥料業界では6社全部黒字で、合計利益が21.1%減の13.9億人民元（約1.96億ドル）。

## 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* ロンドンに上場しているエリトリアの Danalali 社はアフリカ輸入輸出銀行から 4200 万ドルの信用保証を得て、Danakil 盆地にある Kurly 加里プロジェクト専用の発電所を建設すると発表した。アフリカ輸入輸出銀行は Kurly 加里プロジェクトのためにすでに 2000 万ドルを Danalali 社に融資した。
- \* ヨルダン政府エネルギーと鉱産資源省がアメリカのエンジニアリング会社 Agapoto 社と契約して、死海に近い Al Lisan 地区の加里資源の調査を依頼した。調査は資源量と鉱石品質、採掘可能性など 5 段階に分けて行う。調査地区はヨルダン国営 APC 社の管轄地域外にあるが、開発の場合は APC 社が採掘と販売を担当する。
- \* アメリカ連邦調査局は Crystal Peak Minerals 社にユタ州 Sevier 乾塩湖の加里資源の採掘を許可した。Sevier 湖は数 10 年前に乾固し、乾塩湖となったが、地下鹹水に豊富な硫酸加里を含んでいる。Crystal Peak Minerals 社の Sevier Playa 加里開発プロジェクトは 7284 ヘクタールの塩湖に 2264 本井戸を掘り、吸い上げた鹹水を総延長約 500km の水路で蒸発池に送り、太陽熱で蒸発させ、年間 37 万トン硫酸加里を生産する計画である。来年から建設を始める予定である。
- \* オーストラリアの Australian Potash 社は計画中の Lake Wells 硫酸加里プロジェクトについて、最新の探鉱データによれば、硫酸加里資源量が 1810 万トンであると発表した。当該プロジェクトの第一段階には年間 10 万トン硫酸加里を生産するため、約 1.35 億ドルの投資が必要である。
- \* ロシアの EuroChem 社の傘下にある JSC 社はロシア西北部 Kingisepp 市に建設中のアンモニア工場が完成し、正式に稼働し始めたと発表した。当該工場の生産能力がヨーロッパ最大で、年間 100 万トンアンモニアを生産する。総投資額 10 億ドル。
- \* トルクメニスタンからの報道によれば、トルクメニスタンのテュルクメナバート化学工場が年間 17 万トン化成肥料の生産ラインを建設するため、8 月 30 日に国際入札を行った。2020 年から建設が始まり、2021 年完成する予定である。製品が主に輸出に供する。
- \* モロッコの Emmerson Potash 社は開発中の Khemisset 加里プロジェクトについて探鉱井戸の掘削計画を完了したと発表した。Khemisset はモロッコの北部にある町で、地下 450m には約 3.11 億トンの加里資源があり、平均品位 10.2%K<sub>2</sub>O。Khemisset 加里プロジェクトは年間 80 万トン塩化加里を生産し、鉱山の採掘期間 20 年と計画されてい

る。2019年に探鉱井戸9本を掘削し、2020年上期にプロジェクトの実行可能性研究結果を発表する予定である。

## その他

- \* ロシアの Uralkali 社との価格交渉が不調で、中国とロシアの塩化加里国境貿易が6月から停止したままである。中国税関の統計データによれば、今年上半期の国境貿易で絵の塩化加里輸入量が20%減の47.1万トンしかなく、2009年以降最低の数量である。通常、国境貿易を通じて入った塩化加里が総輸入量の15~20%を占める。噂によれば、9月から国境貿易が再開するが、現在交渉中の2019~2020年塩化加里輸入基本契約の行方に影響され、年内再開できない可能性もある。
  
- \* 8月16日、中国最大の加里企業塩湖社は債権者から裁判所に強制破産が申請された。塩湖社は1958年に創立した青海加里工場を前身とする国営企業で、1997年8月中国深セン株式市場に上場した。設立してから60年間生産された塩化加里が4000万トン以上、現在年間塩化加里生産能力500万トン。しかし、多角化のためリチウム、マグネシウム、セメントなどに進出したがことごとくに失敗して、2017年赤字41.59億人民元（約5.92億ドル）、2018年赤字34.47億人民元（約4.9億ドル）、2019年上半期も4.2~5.5億人民元（約0.60~0.78億ドル）の赤字が予測される。2019年3月末の流動資産114.19億人民元に対して流動負債額316.64億人民元に上り、返済不可能の状態に陥った。最盛期の株価1株107.69人民元に対して、8月16日の株価が1株5.88人民元になった。  
また、9月3日に裁判所の命令により塩湖社の持つ一部子会社の株式と銀行口座が凍結され、その合計金額が15億人民元（約2.12億ドル）を上回る。
  
- \* サウジアラビアの Ma'aden 社は技術的問題で停止していた MWSPC 工場のアンモニア合成装置が今週に再開したと発表した。1ヶ月の稼働停止で、約10万トンアンモニアの生産量を減少した。DAPの生産にも悪影響を及ぼしていた。
  
- \* オーストラリア政府の競争と消費管理委員会（ACCC）はカナダ Nutrien 社がオーストラリア Ruralco Holdings 社を買収することを許可した。Ruralco 社はオーストラリアの大手農業資材商社で、買収により Nutrien 社の肥料等のオーストラリアでの販売に役立つ。